

文献

- 1) Baguley, D. Davis,A. and Bamford, J : Principles of family-friendly hearing services for children. *British Society of Audiology Newsletter*,29,35-39,2002.
- 2) Green,R: Audiological identification and assessment. In Stokes,J.(ed.)*Hearing Impaired Infants –Support in the First Eighteen Months*. Whurr Publishers London,1999.
- 3) 針谷しげ子, 田中美郷, 森田訓子: 新生児聴覚スクリーニングで「refer」となった児の親の心理について.*Audiology Japan* 44,5,279-280 2001.
- 4) 廣田栄子: 幼小児に補聴器を適合する時の方法を教えてください. 神崎仁, 安野友博, 古賀慶次郎編: 補聴器Q&A より良いフィッティングのために.金原出版 2001.
- 5) 井村春美: 1歳未満乳児の聴力発達に関する研究. *日耳鼻*,69,1280-1310,1966.
- 6) 金山千代子: 母親法 聴覚に障害がある子どもの早期教育. ぶどう社, 2002.
- 7) 川村秀忠・志田倫代: 発達のがかりな乳幼児の早期発達診断. 川島書店,1982.
- 8) 熊田華恵: 重度・重複障害児に対する視機能評価と支援—コミュニケーションとかわり手のあり方を土台として—.平成 13 年度独立行政法人国立特殊教育総合研究所長期研修成果報告書,2002.
- 9) 田中美郷・進藤美津子: 乳児の聴覚的発達検査とその臨床および難聴児早期スクリーニングへの応用,*Audiology Japan*,2152-71,1978.
- 10) 田中美郷: 新生児難聴のスクリーニングの歴史.*JOHNS*,16,11,1671-1673. 2000.
- 11) 田中美郷: 聴覚障害児教育における早期とは? .*Audiology Japan*,44,5,299-300,2001.
- 12) 田中美郷: 新生児聴力スクリーニングにいまもとめられているもの.*Better Hearing Journal*,24,3,1,2001.
- 13) 富沢晃文, 加藤大典, 宮川孝昭, 木下眞里, 中川永弘: インサートイヤホンを使用した VRA の有効性の検討.*Audiology Japan*,42,5,431-432.1999.